

第2回プログラム推進委員会のコメントを踏まえたロードマップ構成の 議論

富田・杉田

第2回プログラム推進委員会でのコメント

- (コメント)どのくらいの問題が自前の計算機で計算できて、どの問題以上であればもっと大きい計算機が必要か、が分かるとよい。
- 回答→ 必ずしも全系を使わなくても将来成果が見込めるものをピックアップしている。その上でどういうハードが必要になるかを明らかにしていく。
- (コメント) アプリの網羅性は広がったが沢山ありすぎる。濃淡、どこに重点を置くのか。
- → 濃淡は国が決めると考えている。各分野にはどういうことをやりたいかを聞いている。
- (コメント)サイエンスのゴール(What)ありきで、アプローチ(How)ありきではない。全体としてのゴールが必要。分野毎のゴールということではなく、大きなまとまりをいくつか作って全体としてのゴールを作る必要がある。「京」の時の「5分野」と今回との違い、大きく変わるところを示してほしい。
- 「京」との違い: 質的にサイエンスがこう変わるという概念が必要
- 回答→ 分野横断型のテーマを設けたことが今回の新しい取り組み。防災が大きな柱の一つで、あらゆる分野に広がる。ほかに生体分子系で細胞丸ごとシミュレーションを分野1, 2, 4が協力して行う予定。また、社会科学シミュレーション、エージェントシミュレーション、グラフ処理も盛り込む。
- 「HP、Web (藤井主査) → 氏名・月

うにすること。

「出口志向でまとめること」

ロードマップ再構成案(富田・杉田)

- 基本的なまとめ方

- 1、2、3章に行くにつれて、詳細化していく。

- 出口志向となるところは前面に押し出す。

- 1章:序章(担当:杉田・富田)

- 文書の位置づけ

- 次の課題を克服するための分野連携の見取り図

- 2章と3章の関係

- 2章:社会的出口を見据えた連携課題(頂いている原稿、これからいただく原稿)

- これまでの議論の分野連携課題、大規模実験設備との連携課題など

- 1, 2章:役人・計算機科学者・一般の読者想定

- 3章:各分野での詳細テーマ(頂いている原稿)

2章をどう書くか？

課題一覧(とりまとめ役候補)

- 創薬・医療
 - E.x. 健康で明るい社会を目指して(例)
 - 生物学、物質科学、ものづくりの連携 取りまとめ： 池口？
- 防災課題
 - 地球科学・社会科学・ものづくり 取りまとめ： 堀？
- エネルギー・環境
 - 物質科学・モノづくり、地球科学 取りまとめ： 高木、藤堂、気象の人だれか？
- 知の探究
 - 宇宙・地球連携課題、大規模規模施設との連携 取りまとめ： 石川？
- 大規模データの有効利用
 - 情報工学、社会科学、もろもろ 取りまとめ： 伊藤？
 - 観測データとの連携(データ同化など)？
- **一言であらわすわかりやすい題名**

フォーマット(1課題) : A4 2~3枚

1. 課題の概略
2. サイエンスとしてのこれまでからの質的変化の盛り込み
 - 連携によって、どのように社会・学術業界へ貢献するか？
 - 例えば、いままでは、古典MDだったが、量子ダイナミクスの計算に変わる。。。とかなんとか
3. コミュニティーからの意見
4. 計算機要求(3章からのピックアップ)

2章最後に全体を俯瞰した計算機要求、表、グラフが必要(丸山、おの、杉田、富田)

3章：各分野の詳細

- 基本：ここは書きたいことを書く
 - 基本的に出していただいたものでOK
- 若干、フォーマットについての摺合せ
 - リファレンスの扱い
 - あるところ、ないところあり、
 - 図など

段取り

- 1月末、ドラフト締切
- 2月上中旬、再構成（日程的に少々きついが頑張る。）
- 2月18日第5回ミーティングで大まか合意
- 即、パブコメ開始
 - 来年度早々には、パブコメの反映
- 学会等との意見交換は随時行い、ロードマップに反映

以上を、7月ぐらいまでに